

九演連連帯50周年  
記念公演

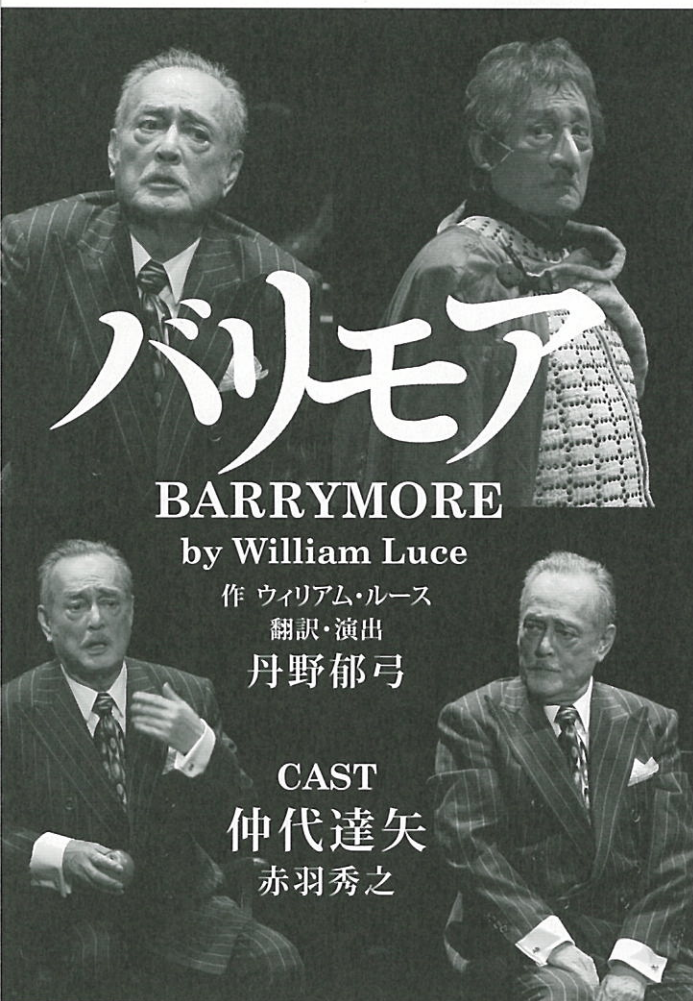
# バリモア

演じる宿命を背負った男

作 ウィリアム・ルース  
翻訳・演出 丹野郁弓  
無名塾 2023

CAST  
仲代達矢  
赤羽秀之





仲代達矢は挑戦を止めない。  
あの「バリモア」が再び舞台に帰ってくる。

1942年、ニューヨークの小さな劇場に佇む一人の老優——。何代も続く芸能一家に育ち、ハリウッドで華々しく活躍した大スター、ジョン・バリモア。アルコール依存で破滅しかけている彼は、今、新しい舞台のリハーサルに挑んでいる。サポートは馴染みのプロンプターただ1人。演目は彼のかつての当たり役『リチャード三世』。これが崖っぷちの彼に残された、再起への最後のチャンスだ。暗い劇場に響くシェイクスピアの台詞、それはいつしか、彼、バリモア自身の追憶を辿る独白となってゆく…。舞台上にはバリモアただ一人。初演、再演と話題になり、仲代達矢の新たな代表作となった傑作に、役者生活70年を超え、現在90歳の仲代が再び挑戦する。

**John Barrymore** ジョン・バリモア(1882-1942)

米国フィラデルフィア出身の俳優。両親や一族が舞台俳優という芸能一家に生まれ、兄ライオネル、姉エセルと共に「バリモア三兄弟」として知られる。舞台俳優としてキャリアをスタートし、端正な容貌で映画でも活躍したが、若い頃からの過度の飲酒が災いし、失意と貧困のうちに60歳で亡くなった。四度の結婚は失敗、三番目の妻との孫、ドリュー・バリモアが映画女優として知られている。映画の代表作に『ドン・ファン(1926)』『グランドホテル(1932)』など。

音楽=池辺晋一郎 装置=島次郎 照明=前田照夫 効果=山岸和郎  
衣裳=石川君子 舞台監督=泉智幸 協力=日高義則・(株)仕事  
制作=山本弘人・石川雅子・若尾弓 製作=無名塾  
宣伝(デザイン)=市川きよあき 写真=吉村 衣裳=大谷真美 文=角田美和 舞台写真=石川純

九演連の皆さまへ ひとりの役者の人生ですが、  
皆さんの抱える人生と変わりありません。 仲代達矢

2022年1月例会「左の腕」は、仲代さん芸歴70周年としてお迎えしました。その歴史は私たち市民劇場との出会いでもありました。感謝の思いです。

仲代さんは、長い間、シェイクスピアの作品を演じ続けてこられました。このシェイクスピア俳優と云われた仲代さん演じるジョン・バリモアの台詞一つひとつが仲代さんの中で繋がっているのかと思えてなりません。

東京公演後、全国で15ステージのみの上演です。ぜひ、お見逃しなく。

2023年 4月16日[日]⇒17日[月]

北九州芸術劇場 中劇場

4月	16日[日]	17日[月]
開演時間	15:00	13:30

◎チケット料金(全席自由席)

会員特別料金 4,000円  
会員外一般料金 9,000円

◎お問い合わせ

北九州市民劇場 TEL 093-582-7200